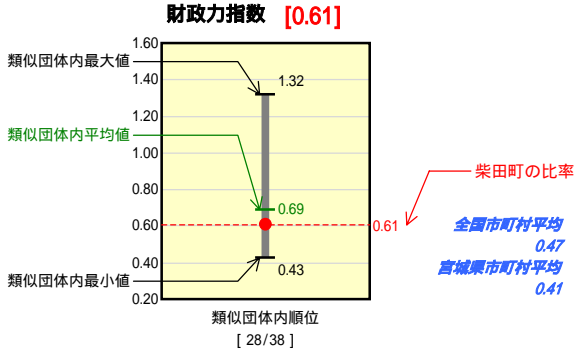


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

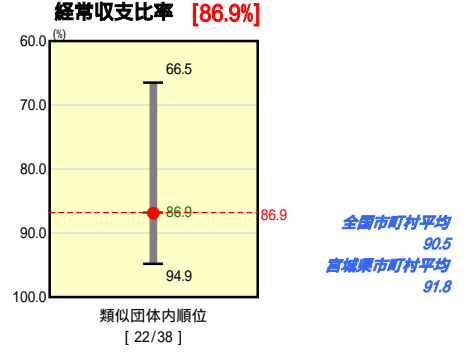
宮城県 柴田町

人口	39,317人(H17.3.31現在)
面積	53.98 km ²
歳入総額	10,885,735千円
歳出総額	10,817,638千円
実質収支	68,097千円

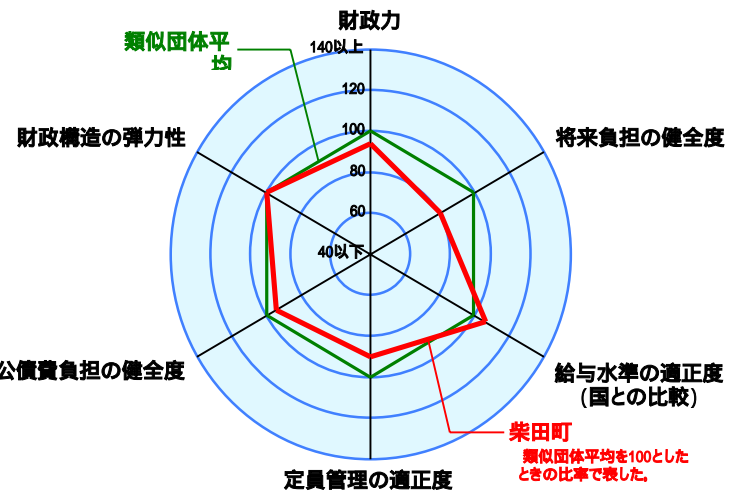
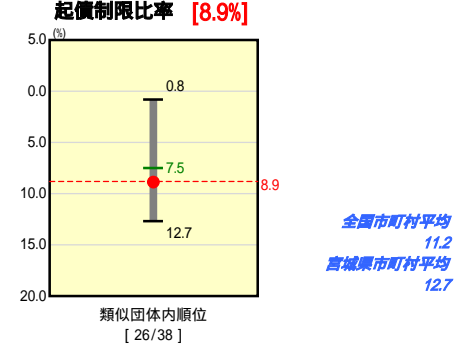
財政力



財政構造の弾力性



公債費負担の健全度



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析概

財政力指数
 ・数値は微増傾向にあるが、町税収入の下落傾向が続くなど、財政基盤は次第に弱くなっている。今後、行財政改革の推進により、財政の健全化を図っていく。

経常収支比率
 ・社会保障関係経費や一部事務組合への負担金などの増加により、悪化している。これら経費は今後とも増加が見込まれることから、定員管理計画に基づく人員削減による人件費の抑制や事務事業見直しによる物件費の圧縮などにより、比率の上昇を抑制していく。

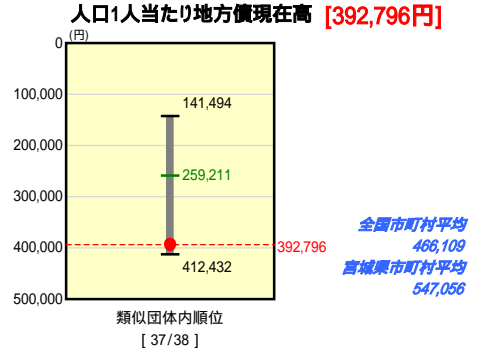
ラスパイルズ指数
 ・ほぼ全国平均の数値となっている。今後とも給与の適正化に努めていく。

起債制限比率
 ・町債の借換えにより、公債費の縮減を図ったことから、比率も低下しているが、類似団体平均を上回っている状況にある。今後は、これまで以上に町債発行を抑制し、比率の上昇を抑えていく。

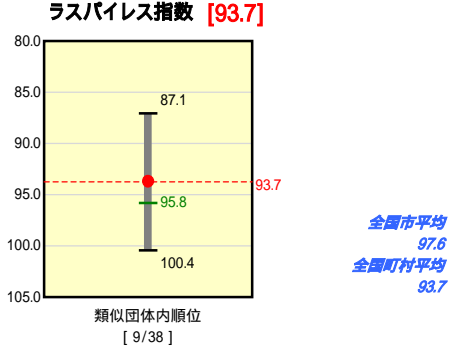
人口1人あたり地方債残高
 ・過去の大型プロジェクト事業の実施により町債残高が急増し、類似団体平均を大きく上回っている。今後は、事業の絞込みにより町債発行を抑制し、残高の減少を図っていく。

人口1,000人あたり職員数
 ・これまでも退職職員の不補充などにより、定員削減を図ってきたが、類似団体平均を上回っている。新たに策定する定員管理計画の中では、平成18年度から22年度までに27人の職員を削減することとしており、行政組織のスリム化を図っていく。

将来負担の健全度



給与水準の適正度(国との比較)



定員管理の適正度

